今月担当の和歌山県 DSC 会長 田中です。

私は、競技選手として 10 年程になりますが、平成 21 年に指導員研修を受ける迄、組織について全く知りませんでした。 そこで今回は公益社団法人日本ダンススポーツ連盟 (JDSF) の現代までの歩みを確認したいと思います。

1999 年(財)日本体育協会に加盟し、2002 年文部科学省所管の社団法人となりました。そして、2007 年(財)日本オリンピック委員会加盟団体として認可され、2011 年公益社団法人となりました。 また JDSF の使命は、「ダンススポーツの普及を通じて健康で生きがいと潤いのある生活づくりを支援する。」という生涯スポーツとしての特徴を持っています。以上が JDSF 組織の歩みと大きな役割であります。

私も資格取得後、サークルの普及、初心者育成と、私の出来る事から実践しています。各種データーでも判りますが、今後の社交ダンスを考えた時、先行きがとても危惧されております。 会員の皆様ご存知のように、ダンス主催団体に於いて、色々な問題が発生しているのも事実です。高齢化しつつあるダンススポーツ界の行方は、決して明るいとは言えませんが、私達にも何か出来る事があると思います。

和歌山 DSC 会では、「A リーグ選手会新春ダンスパーティー」を数年前より毎年1回開催しておりました。

しかし A リーグ会員の減少、また A リーグ会員以外からの苦情など色々な問題もあり、昨年各団体の登録に関係なく競技選手が一つと成る「和歌山県競技選手会」を立ち上げました。そして初めての「和歌山県競技選手会新春交流ダンスパーティー」を盛大に開催する事が出来ました。競技選手 40 組と一般参加者合わせて約 340 名がダンスを通して楽しい一時を過ごしました。現在和歌山の競技選手 8 0 %の方々に参加協力頂いておりますが、100%を目標に頑張って行きたいと思っております。

2015年には、和歌山県で全国都道府県対抗競技大会開催が予定されています。

この大会が盛大に開催出来るよう協力し、和歌山県のダンス人口拡大の為、積極的に取り組んで行きたいと思っております。

最後に和歌山県の PR をチョット・・・!

世界遺産に登録された熊野古道を散策して、足腰を鍛えるのもいいですよ。

また足を延ばして、弘法大師開山の高野山へ・・・。

静寂の中、石畳を歩んで行くと、心も身体も清められた気がします。

お勧めは、競技会場から10分のポルトヨーロッパです。

景色は勿論の事、和歌山の海の幸が最高で、活きのよい魚介類を網焼きで食べるというグルメ通に は欠かせないスポットです。

試合後は和歌山を楽しんで頂き、一組でも多くの選手の皆様が和歌山 DS 競技大会にご参加頂けることを心から願っております。